

ゆめごよみ風だより110号

INDEX (見出し)

- ・ 巻頭言
- ・ 能登半島地震 救援金一覧
- ・ 能登半島地震 個人見舞金に関して
- ・ リレーエッセイ 災害と障害者 第83回
- ・ 東京イベント報告
- ・ 応援団からこんにちは！ vol. 12
- ・ カンパをいただいた団体/事務局の動き
- ・ 個人見舞金をお届けします
- ・ 会計報告
- ・ 各地からの風だより

一人の「人」として支援を

代表理事 戸田 二郎

今年（2025年）は阪神淡路大震災から30年。ゆめ風基金設立から同じく30年になります。ゆめ風基金は震災の被害を受けた障害者や障害者事業所（当時は作業所）などの再建を支援するために設立されました。被災した障害者たちが避難所でどんな避難生活をしているのか気になる中、伝えられる情報は厳しいものばかりでした。とりあえず救援活動をするのに車での移動はむづかしいので、バイク（50cc）が必要との話で2台のバイクと布団などを車に積んで神戸に向かいました。そこで町の被災状況を見て愕然としたことを思い出します。

昨年の元旦、夕方に大きな揺れを感じテレビのニュースを見ると石川県の能登地方であることがわかりました。ゆめ風基金はすぐに情報収集に努め、ゆめ風ネット加賀（ひまわり教室）など被災地の障害者団体・支援団体と連絡を取り、支援の準備と共に必要な支援を始めました。水などの生活物資の配送を道路が寸断されている中でも取り組んでできました。

震災後避難所が開設されましたが、30年前の阪神淡路大震災と変わらぬ、個人の生活リズムは無視され、プライバシーもない雑魚寝状態の避難所での生活を被災者は余儀なくされていました。そんな避難生活を避けた被災者が、農業用のビニールハウスや半壊の家で、近所の人達が寄り添い生活する姿が報道されていました。また、集団での環境では生活が難しい知的障害のある人は、そもそも避難所には周りの人を気にして入れません。介護の必要な人も同じです。阪神淡路大震災以降、東日本大震災・熊本大震災があったにもかかわらず30年前の阪神淡路大震災から国や行政は何を学んだのでしょうか。

台湾東部で昨年の4月に最大震度6強を観測した地震がありました。しかし日本とは大きく違って、震災から3時間後にはプライバシーを確保できる個室のようなテントが設置され、避難者に食事や下着などの日用品、アロママッサージなども無料で提供されたことが報道されていました。

石川県の4市町は12月27日、男女15人を能登半島地震の災害関連死に認定したと発表しました。今回

の能登地震での関連死は270人となり、直接死と合わせた死者は498人。富山県と新潟県で関連死に認定された6人の方を含め、同地震による死者は504人となり、2016年に発生した熊本地震の222人を超えています。災害関連死は遺族からの申請を受けて審査がされるため、まだまだ増える可能性があります。災害関連死の多さに、地震発災後の命を守るための十分な取り組みがなされていなかったのではないかと思わずにいられない。

9月には奥能登豪雨災害が起こりました。この豪雨で仮設住宅にも被害が出ています。仮設住宅を建設する時、半島という状況のため、土地が少なく豪雨災害の可能性の高いところにも仮設住宅を建設していました。当然豪雨災害が起きた時の支援体制が想定されていなければならないと思うのですが、想定されていたか疑問が残ります。ゆめ風基金は、地震と豪雨の両方の被害に遭われた障害者世帯へ10万円の個人見舞金をお届けしています。見舞金の申請書には「9月19日にやっと仮設住宅の当選ハガキが届いたが、豪雨でその仮設住宅が被害に遭い、今も半壊した自宅で不安な日々を過ごしている」という何ともいたたまれないことを書いておられます。

ゆめ風基金は、前代表の牧口一さんと元副代表の河野秀忠さんが神戸の被災状況を目にして、被災障害者や障害者事業所の復興の支援を息長く取り組むことと、今後の災害にも備えたいという思いで、多くの仲間と共に設立しました。障害者解放運動と共に取り組んできた河野さんが2017年に亡くなり、牧口さんも設立30年まであと半年という2024年9月に亡くなってしまいました。今代表を仰せつかっておりますが、偉大で敬愛する大好きなお二人の思いを大切にして取り組んでいきたいとおもいます。



台湾の避難所



能登の避難所

能登半島地震 支援金・支援活動費 2024.1~12/23
 合計64,422,203円

- 1/5 ひまわり教室 (石川県金沢市): 支援物資・ガソリン代等 500,000円
- 1/10 ひまわり教室 (石川県金沢市): 支援物資・ガソリン代等 1,000,000円
- 2/7 ひまわり教室 (石川県金沢市): 支援物資・ガソリン代等 1,000,000円
- 2/27 NPO法人石川バリアフリーツアーズセンター (石川県金沢市): 支援物資・ガソリン代等 3,901,150円
- 3/5 ひまわり教室 (石川県金沢市): 支援物資・ガソリン代等 500,000円
- 3/27 児童ホームあだぶと (石川県穴水町): トイレ改修工事費 62,000円
- 3/27 NPO法人あすなろふたばぱいんの会 (石川県輪島市): パソコン、コピー機購入費 1,610,400円
- 4/1 ゆめ風基金事務局 支援活動費(1/1~3/31) 233,015円
- 4/5 ひまわり教室 (石川県金沢市): 支援物資・ガソリン代等 500,000円
- 4/17 社 礎会 自立支援センターみずほ (石川県能登町): 耐久食器購入費 396,214円
- 4/26 NPO法人七尾鹿島手をつなぐ育成会ほうぷ子どもの家 (石川県七尾市): レンジ、DVD プレーヤー等、購入費 419,150円
- 5/7 一般社団法人ともえ (石川県七尾市): 福祉避難所兼障がい者居住支援施設建設費用 5,000,000円
- 5/8 合同会社ぱぶら (石川県七尾市): デイサービス建物損壊部分補修工事費 5,940,000円
- 5/30 NPO法人スペースBe (新潟県新潟市): 建物耐震検査費用 1,610,000円

- 6/7 NPO法人夢かぼちゃ (石川県輪島市): 建物補修工事、備品購入費(コーヒーメーカー) 572,800円
- 6/7 社福)野の花福祉会ゆうの丘 (石川県七尾市): 施設備品購入費(空き缶プレス機) 722,500円
- 6/30 ゆめ風基金事務局 救援活動費(4/1~6/30) 400,628円
- 7/12 NPO法人石川バリアフリーツアーセンター (石川県金沢市): 救援物資・ガソリン代等 632,581円
- 7/19 日本障害者フォーラム (東京都新宿区): 能登の障害者支援拠点の維持管理費7月~3月分 4,500,000円
- 8/7 NPO法人七尾鹿島手をつなぐ育成会ほうぷ子どもの家 (石川県七尾市): 施設改修費(キッチン、バス) 2,821,036円
- 8/7 NPO法人夢かぼちゃ (石川県輪島市): 送迎車両購入、建物追加補修工事費 2,868,010円
- 8/29 ひまわり教室 (石川県金沢市): 救援物資・ガソリン代等 500,000円
- 8/30 NPO法人いきいき (石川県穴水町): 災害による給付金減少に伴う人件費補填 3,000,000円
- 9/30 ゆめ風基金事務局 救援活動費(7/1~9/30) 530,575円
- 10/1 一般社団法人つながり (石川県羽咋市): グループホーム施設改修費 7,000,000円
- 10/1 ひまわり教室 (石川県金沢市): 救援物資・ガソリン代等 300,000円
- 11/26 一般社団法人ともえ (石川県七尾市): 障害者個人へのお見舞金(1人分) 100,000円
- 11/26 社会福祉法人すず 椿 (石川県珠洲市): 障害者個人へのお見舞金(2人分) 200,000円
- 11/26 社福)弘和一互一笑 (石川県輪島市): 障害者個人へのお見舞金(17人分) 1,700,000円
- 11/26 NPO法人地域支援センターポレポレ (石川県金沢市): 障害者個人へのお見舞金(2人分) 200,000円
- 12/4 NPO法人夢かぼちゃ (石川県輪島市): 職員に対する休業補償の一部費用 300,000円
- 12/4 NPO法人夢かぼちゃ (石川県輪島市): 移送支援費用10月分 108,224円
- 12/4 NPO法人夢かぼちゃ (石川県輪島市): 障害者個人へのお見舞金(3人分) 300,000円
- 12/20 社)鳥越福祉会さざなみ (石川県珠洲市): 障害者個人へのお見舞金(1人分) 100,000円
- 12/20 NPO法人あすなるふたばばいの会 (石川県輪島市): 障害者個人へのお見舞金(43人分) 4,300,000円
- 12/20 NPO法人地域支援センターポレポレ (石川県金沢市): 障害者個人へのお見舞金(4人分) 400,000円
- 12/20 社会福祉法人日本盲人福祉委員会 (東京都新宿区): 障害者個人へのお見舞金(9人分) 900,000円
- 12/20 NPO法人石川バリアフリーツアーセンター (石川県金沢市): 障害者個人へのお見舞金(5人分) 500,000円
- 12/23 NPO法人千種の舎 (新潟県新潟市): 事業所改修費 8,550,000円

能登半島豪雨被害世帯に個人見舞金をお届けしました

2024年9月、能登半島北部を豪雨が襲いました。地震での復興もままならない中、豪雨による被害報告が次々と届きました。ゆめ風基金では緊急理事会を開き、豪雨被災障害者世帯にお見舞金10万円をお届することを決めました。

西日本豪雨災害に続き2度目ですが、お見舞金は個人から直接申請ではなく、地元の障害者関係団体を通じて申請していただきます。それは今後困りごとが起きた時に、地元の団体に相談できるパイプを作ってほしいからです。被害の聞き取りやお見舞金の配布を介して、関係性を築くことが重要だと考えています。

今回も福祉サービスを利用していない方からの問い合わせが多く、輪島や珠洲の相談員さんや障害者団体、金沢の事業所へ繋ぎ取り等をしていただいた結果、年内に86件、年明けに74件の見舞金を配布することができました。



輪島市河井町



輪島市久手川付近

被災者の声

輪島市・能登町・珠洲市の被災障害者から悲痛な声が届いています。

- * 地震により自宅を失い、息子宅に避難。9月にやっと仮設住宅への入居の目途が付き、電気水道などの接続を待っていたところ入居予定の仮設が床上浸水し、入居が2ヶ月遅れた。
- * 震災後、金沢のみなし仮設で生活。浄化槽の修理が終えれば、自宅で生活する予定だったが、豪雨で川が氾濫し、自宅が流され住む家がなくなる。
- * 裏山が崩れ、土砂で自宅が流された。屋根はテトラポットに引っ掛かり、一部は海に流れ、一部は土砂に埋まった。家はすべて失ってしまった。
- * 断水、停電で地域全体が避難区域となる。本人含め家族は、ヘリで救助される。本人は、穴水総合病院へ入院後、青山彩光苑穴水ライフサポートセンターへ避難継続中。
- * 豪雨の後、停電と断水があった。これまで音に対する反応はなかったが、豪雨後、雨音に過敏に反応し、耳をふさぐようになった。仮設住宅のため（屋根が波板で平屋）雨音が響き、避けることができないためイヤーマフラーの使用も考えている。
- * 自宅の裏山が崩れ、土砂が自宅1階に流れ込んだ。自宅周辺の道路が冠水、翌日、救助ヘリで市内病院に搬送してもらった。電気、水は復旧、道路も通行可能となり、現在は自宅2階で生活している。
- * 自宅横の塚田川が氾濫。上流から土砂や家が流れてきた。周囲は氾濫した水や流木で避難できず、2階に垂直避難した。水位が落ち着いてから、近隣の中学校で3日程避難する。
- * 自宅で過ごしていたが、河原田川が氾濫。自宅は氾濫地点よりも低く、近くだった事もあり、すぐに最寄りの避難所へ向かうも、太ももまで水が流れていた。移動が困難だったが近くにいた男性が抱えて下さり、無事にいく事が出来た（父は仕事中だった）。自宅は畳が半分浸かるくらいの浸水でした。
- * 被災し準半壊認定。義援金以上に修理費に係るため、借金も視野に入れている。大雨により半壊した部分から雨が入り、天井が落ちてくる。父は姉の家に行くことになり、統合失調症の母と2人暮らし。関係性も悪く会話が成立しない。修理費の一部に充たいたい。
- * 重度身体障害でコミュニケーションも困難。全面支援が必要な状態である。豪雨災害後、現在も断水継続中。一時停電と電話が通じない状況となる。福祉避難所へ避難も検討したが、道路は土砂崩れで通ることが出来ず、避難所での生活もストレスに繋がると考え、自宅で過ごすことを選択する。
- * 1月の地震後は珠洲市の自宅で生活していたが、9月の豪雨で床上浸水。裏山から流れてきた水の影響で、水道管が損壊。現在も通水していない。3歳の娘もいるため、水がないと生活や子育てに支障をきたすと判断し、12月から仮設住宅で生活している。
- * 長時間の豪雨と風により屋根のブルーシートが外れ、家中が雨漏りした。火災報知機に水が入り誤作動で非常ベルが鳴りやまなくなり、子供も恐怖で固まっていた。床下浸水はくいとめることが出来たが、庭のコンセント付近まで水がたまり、漏電、停電になるところだった。
- * 災害後、白山市の避難所へ避難。地震時も洪水時も一人暮らしのため大変つらい思いをした。9月の豪雨による洪水では床上浸水した。家の中で水位が上がってくるのを見ながら、不安な思いをしながら見ていた。水が引いた後、すぐに近所の男の人が手伝ってくれ、一緒に泥をかき出した。現在もまだ水は繋がっていない。
- * 床下浸水。車水没（廃車）。当時は近くの避難所へ膝まで浸かりながら行きました。現在は、2階での生活になり慣れなくて不満な様子。大きな声で何度も同じ事を言っています。

れいわ ねんの とはんとうじしん たいけん 令和6年能登半島地震を体験して



おけや ぜんいち いしかわけんな なおし あおやまさいこうえん にゅうしよちゆう 桶屋 善一（石川県七尾市・青山彩光苑に入所中）

ねん がつ にちぼうだつし みずまちう せいご ま のうせいま ひ しょうがい てあし げんご 1954年3月16日宝達志水町生まれ。生後間もなく脳性麻痺の障害にかり、手足や言語にしょうがい しょうがいじしせつ きのうくんれん こかんせつ しゅじゅつなど おこな しょう ちゆう こう 障害がある。6歳から障害児施設で機能訓練、股関節の手術等を行う。小・中・高はようごがっこう かよ こうとうぶそつぎょうご しょうがいしゃじゅさんしせつ にゅうしよ ねん ななおし しょうがいしゃしえん 養護学校へ通う。高等部卒業後、障害者授産施設に入所。1985年に七尾市の障害者支援

しせつ あおやまさいこうえん にゅうしよ 施設「青山彩光苑」に入所。

しょうがいしゃむ きかんし 「HSK季刊わたぼうし」を 33年間(1985~2018年)編集。2008年よりデジカメにきょうみ も でんどうくるま とつ ななおし えんせん ななお 市内のバリアフリー状況を取材、編集している。

がんじつ の とはんとうじしん はっせい ●元日に能登半島地震が発生

れいわ ねんがんじつ の とはんとうじしん みま かたがた こころ みま もう あ 令和6年元旦、能登半島地震に見舞われた方々に心からお見舞い申し上げます。

あおやまさいこうえん へいせいがんねん の とちほうはつ しょうがいしゃりようごしせつ りようていじん にん かいせつ へいせい ねん 青山彩光苑は、平成元年に能登地方初の障害者療護施設として利用定員50人で開設。平成5年に50にんぶん ぞうちく げんざい やく 80にん せいかつ 人が増築され、現在、約80人が生活されています。

がんじつ ごご じ ふんす きゆう な だ さいしよ ゆる 元日の午後4時10分過ぎ、パソコンをしていると急にスマホが鳴り出しました。最初は緩やかだったので、いつもの余震だろうと思っていました。

ところが、揺れがだんだん大きくなり、テーブルの品物が落ちてくるし、怖かったです。揺れが大きくなり建物の倒壊が予想され、危険なので職員の指示で外へ出ました。雪が降っていないことが幸いでしたが、夕方なので寒かったです。外へ出ると、スマホの緊急地震速報が何度も鳴り、渡り廊下の外壁が落ち、地面のアスファルトも大きくひび割れていました。

ある程度地震が収まってから室内に入り、食事にカロリーメイトが配られました。夜の就寝は、ホールにベッドを運んで寝ました。元日の日勤職員も家へ帰らず、夜勤者と一夜を過ごしました。

●ライフライン

わたくし にゅうしよ あおやまさいこうえん じしんちよくご ていでん だんぼう でんき つうじょうどお 私が入所している青山彩光苑は、地震直後も停電はせず、暖房・電気が通常通りであったことが何より幸いでした。もし、停電が長く続いていたなら、私も含め、寒さで体調を崩す利用者がいたと思います。皆さん、体調を崩すことなく、無事に冬を越すことができました。

はっさいよくじつ じもと ほくりくほうそう あさ ばん ま にち 2日からは、テレビアンテナ・インターネットのWi-fiが故障したため、テレビも映らず、インターネットも出来なくなりました。そのため地震情報はラジオだけでした。いつも聴いているアナウンサーが、元日から情報を伝えてくれている。ありがたいことです。

こんかい じしん さいだい かだい だんすい じしんちよくご しょくじ すいぶん すうじつご 今回の地震での最大の課題は断水でした。地震直後の食事はカロリーメイトと水分だけでした。数日後には、朝食時間を遅くして、パンやクラッカーとコーヒー、牛乳などでした。昼食と夕食は、普通の食事と変わらないくらいでした。断水のため食器を洗うことができないので、7月頃までは使い捨ての容器を使っていました。

ななおし ない すいどう ほとんご かいめつじょうたい あおやまさいこうえん しきちない すいどうかん ふつきゆう めど 七尾市内の水道の殆どが壊滅状態で、青山彩光苑の敷地内の水道管もいつ復旧するかは目処がたちませんでした。そのため、4月まで入浴が出来ず、月に1~2回、七尾市内の老人福祉施設の入浴を利用したり、清拭で対応していました。5月から2箇所ある入浴設備のうちの1つの修理が終了し、現在は、

もう1か所も修理が終了し、週に2回の入浴が出来るようになっていきます。

倒壊した居室棟の渡り廊下等、大規模に損害を受けている箇所は、7月頃の完成予定で年明け1月から修復工事が始まっています。

地震が起こった日は、お正月といっても利用者のほとんどが高齢者です。もちろん家族も高齢化、両親が亡くなった等の事情もあり、家へ帰る人は数人しかおらず、代わりに家族が面会に来られています。私も10年以上、自宅へ帰っていません。

●被災地、輪島旅行

2024年11月に青山彩光苑の企画で能登半島地震の被災地の輪島へ旅行しました。車窓からは、道路は復旧工事が進んでいましたが、倒壊した住宅、商店街、屋根に青いビニールシートがかけられた住宅が見えました。怖かったです。

輪島朝市通りですが、ほとんどの商店街が倒壊していました。テレビで見る倒壊したビルは解体工事が終了して更地になっていました。



輪島朝市通りの様子

昨年6月、ゆめ風基金の方々が青山彩光苑を訪問され、東日本大震災を体験された障害者の体験を聞かせていただきました。また、ゆめ風基金の創始者である牧ローニさんが亡くなったことも知りました。私が牧ローニさんに出会ったのは、40年以上前に金沢の障害者団体が主催した講演会でした。他にも自立生活支援センター富山が主催する講演会でお目にかかり、お話しさせて頂きました。優しい方でした。心からご冥福をお祈りします。

最後に私のような者に、原稿依頼をしていただいたゆめ風基金の皆様へ感謝を申し上げます。

■東京イベント報告 理事 橋高 千秋

カタログハウスの学校共催 第19回ゆめ風であいましょう (12.6 ココネリホール)

～能登地震であらわになったこの国の危機～ ゲスト/ 東京新聞記者 望月 衣塑子さん

冒頭は小室等さんとこむろゆいさんの音楽。最初は「心おさえて」。知的障害者の詩に小室さんが曲をつけた心打つ歌。次は谷川俊太郎さん作詞「希望について私は書きしるす」。“どこの国のものでもない風よ なんの主張もせぬ旗を翻せ 春の野に”初めから涙腺決壊。

続いて望月衣塑子さんのお話。能登半島地震では、官邸と知事の初動が遅れたこと、その後の対応も十分でなかったことが多くの犠牲と復興の遅れを招いたと指摘。なんと災害関連死が熊本地震を超えた。道路事情の悪さが救援の遅れの要因と政府は言うが、早期の自衛隊大量投入、そして空挺団を「事始め式」ではなく、早急に被災地に派遣していれば多くの生存者を救うことができたはずだと指摘。多数の被災者が国、県からの救援を待っていた。多くの救助要請が地元消防署に寄せられたが対応できなかったという。被災者の「見すてられた」との悲痛な声が響く。なんと市民に冷たい国か。

外部電源が途絶えた志賀原発地元の被災者は「二度と電力会社を信用しない」と憤る。海岸が4メートル隆起するなど被害が甚大な珠洲の人々は、原発が稼働していたら大変なことになっていたと吐露。

望月さんは最後に「福島原発のデブリ取り出しもままならぬまま原発推進をやめない政府、人々の苦悩は政治が作り出している。人の命を大切に政治を忘れてはいけない。これからも、被災地で苦しむ人々に寄り添って取材していきたい」と締めくくられた。

鼎談では、被災者からの伝言が紹介された「とにかくキッチン、バス、トイレを保障してほしい」。災害の多い国では当たり前のこと。台湾ではすぐにテント、トイレ、キッチンカーが揃えられていた。この違いはなんだ？ 国はいまだ命の危機に瀕する被災者の救助を！

フィナーレ、小室さんは谷川俊太郎さん、牧口前代表の訃報に触れ「谷川さんも牧口さんも、永六輔さんもこの会場で我々を見ているかもしれないね」と。そして谷川さん作詞の「死んでから」の歌が始まる。「これから何が起きるのか、もうちょっと死なないとわからない。私は良い人間だったろうか（略）死んでからも魂は忙しい」。続いて「だれかが風の中で」。会場に広がるハーモニー。そして3人の合作「ゆめ風の歌」。多くに支えられたゆめ風基金。再び涙腺決壊。



左から 小室等さん、望月衣塑子さん、戸田二郎代表（カタログハウスの学校提供）

■ 応援団からこんにちは vol. 12

災害時にはより小さな地域単位、「町」や「村」での情報が必要になってきます。そこで、いざ、災害が発生したときに「地域単位」で情報収集してくださる団体を募集することにしました。それが「ゆめ風応援団」です。

「ゆめ風応援団」のみなさんからの自己紹介をかねたメッセージをお届けするシリーズ第12弾！



特定非営利活動法人そよかぜ
そよかぜの家（大阪府箕面市）
職員 三枝 有紀

そよかぜの家は「みのお」という街で、由緒正しき（それってなんだあ？）障害者運動の歴史を重ねてきました。小規模作業所時代を経て、今は就労継続支援B型事業所となっています。就労継続支援に移行した当初から「なんて差別的な制度だ！」と私は憤慨しつつ、この制度を使わなければ、生き残りの道はないということもあり、何としても存続させねば…。ということで、格闘しながら日々を積み重ね、何とか、今に至っています。

そよかぜの家の活動は、箕面市内や他市の小・中学校や公共施設への販売活動、リサイクル品の回収や市民の方との交流を目的としたバザー、指定のごみ袋の製袋作業（10枚1組にする作業）・図書館の本の修理、企業のチラシ配布などの委託作業や陶芸商品やオリジナル商品の制作販売などがあります。

こういった活動を通して、障害を持つ人たちが、作業所内にいて作業するばかりではなく、そよかぜのように街に出て販売活動などを担っている姿を様々な人たちに見てもらうことで、障害のある人が特別な存在ではなく、街の風景の中に溶け込み、時には主張し、当たり前のこととして社会を構成している一員であることを発信しています。

戦争や、災害などの暗いニュースに「政治がもっと策を講じなきゃだめだ!!もっとできることがある

はずだろ!!」とテレビに向かって一人、怒りつつ、自分たちにできることを一つ一つていねいに
取り組んでいこうと、心から思っています。これからは色々な人たちとつながっていくことができます
ように…。よろしく願いいたします。

NPO法人PianoPiano (広島県三原市)

代表理事 阿部 真理子

瀬戸内の福祉事業所、NPO法人PianoPiano (ピアノピアノ) です。イタリア語で「焦らず少しずつ、ゆ
っくり、のんびりやろう」という意味です。重度の障害のある人が地域で暮らすことを目標にしてい
ます。「このままずっとこの町で暮らしたい、自分の生活づくりをしたい」と思っている仲間とその実現の
ための活動を行っています。医療的ケアが必要な仲間もアパート暮らしを実現しています。

2002年開所以来17人の仲間が親元を離れ自分の思う暮らしづくりや、事情で一人になった仲間が自分
の思う暮らしづくりを実現し現在も継続しています。三原の地域以外で活躍している仲間もいます。

2018年7月の西日本豪雨の折には、当事業所は断水でしばらく困りましたが、川の氾濫により床上に
浸水した事業所には支援をいただき、再度活動ができるようになりました。ありがとうございました。

ゆめ風応援団に加わせていただき、できる行動を行っていきたくと思っています。

■カンパを頂いた団体 2024/10-2024/12

たくさんのお個人や団体の方々よりご寄付いただきありがとうございます。心より感謝いたします。

- 10/1 ゆうとおん (八尾市)
- 10/3 えにしに集う音楽仲間たち (大阪市)
- 10/15 伊予市障害者団体連合会 (伊予市)
- 10/22 でんでん虫の会 (加東市)
- 10/25 草笛学園 (福井市)
- 10/29 和太鼓蓮うてな (大田区)
- 10/30 路交館 (大阪市)
- 10/31 武庫川すずかけ作業所あとリエ (西宮市)
- 11/5 南部交流センター (堺市)
- 11/13 聖フランシスコ会生野みんなの家 (大阪市)
- 11/18 吹田障がい者協議会 (吹田市)
- 11/20 夢工房こばちゃん (八頭郡)
- 11/20 やました甲乙鍼灸院 (大阪市)
- 11/25 豊能障害者労働センター (箕面市)
- 11/27 東大和障害福祉ネットワーク (東大和市)
- 12/2 貝塚こすもすの里 (貝塚市)
- 12/2 自立生活センターリングリング (神戸市)
- 12/2 あおば (福島市)
- 12/8 カトリック枚方協会 (枚方市)
- 12/10 京都聖マリア教会婦人会 (京都市)
- 12/13 日本聖公会大阪教区婦人会 (大阪市)

- 12/17 とんしょうかい とんだばやしし 富翔会 (富田林市)
- 12/17 しみずて いくせいかい しずおかし 清水手をつなぐ育成会 (静岡市)
- 12/17 ほいくえん あやせし おとぎ保育園 (綾瀬市)
- 12/18 とよなか ふくしかい とよなかし 豊中きらら福祉会クレヨン (豊中市)
- 12/18 きたすもとほいくえん かどまし 北巢本保育園 (門真市)
- 12/20 きょうどうしやはな かい たかつきし 共働舎花の会 (高槻市)
- 12/23 かぜ が が かなざわし ゆめ風ネット加賀 (金沢市)
- 12/23 かわごえし フジテクノ (川越市)
- 12/23 すいたしょう しやきょうぎかい すいたし 吹田障がい者協議会 (吹田市)
- 12/23 つばいのりおしょうてん なごやし 坪井令夫商店 (名古屋市)
- 12/24 ちいきしえん かわにしし 地域支援グループひまわり (川西市)
- 12/24 ちよつかいどうし Tea for two (四街道市)
- 12/24 にほん ざいだんたいへい いずみし 日本ヘレンケラー財団太平 (和泉市)
- 12/24 ちいきしえん かなざわし 地域支援センターポレポレ (金沢市)
- 12/25 たかつきししょうがいじしやだんたいれんらくきょうぎかい たかつきし 高槻市障害児者団体連絡協議会 (高槻市)
- 12/25 とよなかとも かいこうきょうがかり とよなかし 豊中友の会公共係 (豊中市)
- 12/25 あしやにしのみやしみんなほうりつじむしょ にしのみやし 芦屋西宮市民法律事務所 (西宮市)
- 12/26 つやま とめし 津山ベース (登米市)
- 12/26 おおさかし くるん (大阪市)
- 12/27 のむらふくしえん にしのみやし 野村福祉園レインボーアグリ (西宮市)

■事務局の動き 2024/10~12

2024年10月から12月の動きを一部ご紹介いたします。

毎週 (曜日不定) 事務局会議・毎週金曜日 新HP打ち合せ

- 10月1日 のとほんとうじしんしえんかいぎ 能登半島地震支援会議
- 10月3日 のとほんとうじしんしえん れんらくかいぎ JDF能登半島地震支援センター連絡会議
- 10月8日 どうむ じつこういんかい 童夢KANSAI実行委員会
- 10月9日 きょうどうつうしんしゆざい 共同通信取材
- 10月10日 かんさい こうえん アクセス関西ネットワーク講演
- 10月15日 このはなくきたくしえんれんらくかいこうえん 此花区居宅支援連絡会講演
- 10月17日 しゆざい NHK取材
- 10月18日 ごうへんしゆうかいぎ ゆめぐよみ109号編集会議
- 10月19日 のとこじんみまいきん わじまし のとちよう すずし あなみずまち 能登個人見舞金ZOOM説明会 (輪島市・能登町・珠洲市・穴水町)
- 10月19日 きょうどうれん ななおし にいがたし らいはん 共同連マラソントーク (七尾市:ともえ・新潟市:スペース Be来阪)
- 10月21日 ねんきかくかいぎ りじかい 30年企画会議・理事会
- 10月22日 しゆざい NHK取材
- 10月23日 おおさかさいがい きかくかいぎ おおさか災害ネットワーク (OSN) 企画会議
- 10月29日 のとこじんみまいきん せつめいかい わじまし のとちよう すずし 能登個人見舞金ZOOM説明会 (輪島市・能登町・珠洲市)
- 10月31日 のとこじんみまいきん せつめいかい すいせんだんたい 能登個人見舞金ZOOM説明会 (推薦団体)

- 11月2日 ふくてっく講演こうえん
- 11月5日 能登半島地震支援会議の と はんとうじしんし えんかいぎ
- 11月7日 ゆめごよみ109号編集会議ごうへんしゅうかいぎ
JDF能登半島地震支援センター連絡会議の と はんとうじしんし えん れんらくかいぎ
- 11月8日 山形県社会就労センター協議会講演やまがたけんしゃかいしゅうろう きょうぎかいこうえん
童夢KANSAI実行委員会どうむ じつこういんかい
- 11月11日 OSN企画会議きかくかいぎ
- 11月12日 OSNブロック別情報交換会（泉州会場）べつじょうほうこうかんかい せんしゅうかいじょう
- 11月14日～16日 能登訪問（八幡）の と ほうもん やはた
- 11月16日～17日 能登からの風展in白山市の と かぜてん はくさんし
- 11月17日 大阪JRAT（日本災害リハビリテーション支援協会）講演おおさか にほんさいがい し えんきょうかい こうえん
- 11月20日 OSNブロック別情報交換会（河南会場）べつじょうほうこうかんかい かなんかいじょう
- 11月21日 OSNブロック別情報交換会（北摂会場）べつじょうほうこうかんかい ほくせつかいじょう
- 11月23日 童夢KANSAI フェスティバルどうむ
- 11月25日 30年企画会議・理事会ねんきかくかいぎ りじかい
- 11月27日 大阪救 援本部会議おおさかきゅうえんほんぶかいぎ
- 12月3日 中学生プロジェクト事前講習（摂津第2中学校）ちゅうがくせい こうしゅう せつっだいちゅうがっこう
能登半島地震情報連携会議の と はんとうじしんじょうほうれんけいかいぎ
- 12月4日 広島県立沼隈特別支援学校講演ひろしまけんりつぬまくまとくべつし えんがっこうこうえん
- 12月5日 2025年ゆめ風総会ZOOM打合せねん かぜそうかい うちあわ
- 12月6日 中学生プロジェクト避難訓練（摂津第2中学校）ちゅうがくせい くんれん せつっだいちゅうがっこう
ゆめ風で会いましょう in東京かぜ あ どうきょう
- 12月9日 命と絆をつなぐ会アツマルシェ講演（青森）いのち きずな かい こうえん あおもり
- 12月10日 就 労移行支援事業所ラ・ポルタ講演（埼玉）しゅうろういこうし えんじぎょうしょ こうえん さいたま
- 12月11日 BCP研究会けんきゅうかい
- 12月13日 OSNブロック別情報交換会（河北会場）べつじょうほうこうかんかい かわきたかいじょう
- 12月17日 30年企画会議・理事会ねんきかくかいぎ りじかい
- 12月18日 JDF能登半島地震支援センター連絡会議の と はんとうじしんし えん れんらくかいぎ
- 12月19日 大阪府立東 住吉支援学校講演おおさかふりつひがしすみよしし えんがっこうこうえん
- 12月20日 泉州北圏域グループホーム事業所連絡会講演せんしゅうきたけんいき じぎょうしよれんらくかいこうえん
童夢KANSAI反省会どうむ はんせいかい

■ かいけいほうこく
会計報告（別紙）

そよ風、つむじ風、六甲おろし/各地からの風だより/2024.10-2024.12

- ▼「地震は止められないけど、原発は止められる」（伊勢市）じしん と げんぱつ と いせし
- ▼出来る事はわずかですが、少しでも力になればと思っています（十日町市）でき こと すこ ちから おも とおかまちし
- ▼自立しよう！連帯しよう！でないとこの世は生きづらい（久留米市）じりつ れんたい このよは い きづらい くるめし
- ▼牧口さんはいなくなっただけど、より身近にいるような気がします（大阪市）まきぐち みちか き おおさかし
- ▼協力できることの幸せを感じています（川口市）きょうりょく しあわ かん かわぐちし

- ▼定額減税調整給付金の一部です。能登の支援に役立てて下さい（佐久市）
- ▼いつもみなさんのためにありがとうございます。企画のときに募金したものです。少ないですが、たくさんの方の障害当事者がおこづかいから協力してくれました。よろしくお祈りします（堺市）
- ▼政治が弱者の味方になる日がくるのでしょうか。特に石川県の対応があまりに遅く、ひどく、金沢中心のまま、切り捨てが続いていて悲しい（横浜市）
- ▼私たちも、福祉避難所設置、運営協議会有志の会を立ち上げがんばっています。参考にさせていただきます。ありがとうございます（八頭郡）
- ▼毎回の会計報告に「1円たりとも不明にしない」信頼できる（ゆめ・風）に少しばかりですが託します！（羽島市）
- ▼度重なる自然災害、引き続き戦災…胸痛むこと多き世ですが、少しでも役立てていただけたらと（松山市）
- ▼おかしくなっていく世の中。日々皆さんが活動をされている記事を読むと、ほっとします（和賀郡）
- ▼今年もさやかですがお届けします（松山市）
- ▼希望を持って、少しずつでも頑張りましょう！！いつも応援しています（横須賀市）
- ▼少しでも生命と夢を守りたい（枚方市）
- ▼たくさんの方々に支えられて今がある幸せの種を少しですが回りの困っている方に（枚方市）
- ▼大変な中作られた本、世に広く届きますように。ゆめ風に送付したいのでわずかですみません（新宿区）
- ▼能登の皆様へ。90歳おばあちゃんより（東大阪市）
- ▼遅くなりましたが今年も送金できる事感謝してます。受くより与えることは幸いな。皆様良いお年お迎え下さい！！（御殿場市）
- ▼全ての人にほっとできる場所を。朝がたのしみにできる眠りを（日野市）
- ▼牧口さんの「ボクに彩を与えてくれたのは、障害者人生だからにちがいない」を読みその前向きさに大変勇気付けられました（横浜市）
- ▼松葉杖ついてまわりをリードしたマキさんの道歩いていこう（西宮市）
- ▼気持ちだけです。明日に向けて歩みましょう（京都市）
- ▼牧口さんの障害者は障害を持った人のことではなく社会環境に障害を感じている人たちのことだと医療サイド側からの百八十度の転換を伝えていきたいです（小松島市）
- ▼世界中が支えあい助けあいの世界に1秒でも進みますように（木津川市）
- ▼世知辛い世の中だけど一致団結して頑張りましょう！（北本市）
- ▼この寄付は自分が生きている証です。ありがとうございます！（大阪市）
- ▼今年も1年元気に働けたことに感謝して（横須賀市）

■編集後記

2月26日大船渡市で山火が発生し、28日現在3300人以上に避難指示が出されています。避難を余儀なくされた皆さんの状況が大変気がかりです。（U.K.）

■ゆめ風30年イベントのお知らせ 参加費1,000円

2025年5月25日(日)13時開場、14時開演

@大阪府教育会館 たかつガーデン8FもしくはZOOM参加も可能

▽室崎 益輝さん（神戸大学名誉教授・日本防災士会理事長）による基調講演

▽能登半島地震パネルディスカッション（被災地より3名お招きします）

▽小室 等さん・こむろゆいさんのミニコンサート

申し込み方法：メール/FAX/ Google フォーム (<https://bit.ly/30yumekaze>)

記入内容：氏名・住所・連絡先・所属・参加方法（来場またはZOOM）・参加人数・必要な配慮等

申し込み先：ゆめ風基金 ※Google フォームより申し込みされた方は、改めてこちらよりご連絡差し上げます。

NPO 法人 ゆめ風基金
会計報告 | 321,615,168円
 前回の基金残高 2024年9月現在
 貸付金の残高 0円
 これまでの救援金・救援活動費総額 652,282,405円
 総会員数 13,933人

		前回報告残高 2024年9月現在	この3ヶ月の動き 10月から12月まで	今回報告残高 2024年12月現在	
収支計算書	収入の部	会費収入	16,068,998	7,313,976	23,382,974
		寄付金収入	26,047,694	5,991,764	32,039,458
		臨時寄付金収入	21,986,544	1,168,112	23,154,656
		助成金収入	259,874	292,500	552,374
		事業収入	823,481	993,591	1,817,072
		雑収入	28,997	118,432	147,429
		貸付金返済収入	0	0	0
		保証金返済収入	0	0	0
		預り金収入	1,289,601	498,176	1,787,777
		未収入金収入	111,000	△ 217,000	△ 106,000
	未払金収入	0	0	0	
	合計	66,616,189	16,159,551	82,775,740	
	支出の部	救援金支出	41,521,743	25,503,299	67,025,042
		救援活動支出	1,164,218	50,550	1,214,768
		貸付金支出	0	0	0
		基金拡大活動支出	371,589	616,399	987,988
		防災活動事業支出	356,190	271,688	627,878
		広報活動事業支出	1,813,870	892,608	2,706,478
		その他事業支出	501,340	511,732	800,897
人件費支出		10,047,776	3,587,362	13,635,138	
その他事務費支出		4,163,244	1,463,367	5,626,611	
預り金支出		1,467,214	380,751	1,847,965	
未払金支出	287,904	△ 292,920	△ 5,016		
固定資産購入支出	0	0	0		
保証金支出	0	0	0		
合計	61,695,088	32,984,836	94,467,749		
	差引：収支差額	4,921,101	△ 16,825,285	△ 11,692,009	
貸借対照表	資産の部	基金特別会計預金	340,236,006	△ 18,620,838	321,615,168
		一般会計現金預金	905,697	1,795,553	2,701,250
		[現金預金合計]	341,141,703	△ 16,825,285	324,316,418
		障害者貸付金	0	0	0
	有形固定資産	416,152	△ 213,663	202,489	
	その他の資産	1,065,966	283,483	1,349,449	
	合計	342,623,821	△ 16,755,465	325,868,356	
	負債の部	未払金	0	292,920	292,920
		預り金	121,405	117,425	238,830
		その他の負債	0	0	0
合計		121,405	410,345	531,750	
	差引：正味財産	342,502,416	△ 17,165,810	325,336,606	

脚注 1. 今回は10月から12月までの3ヶ月間の報告です。
 2. 救援金は7件の支払いがありました。(その他豪雨見舞金88人分880万円)
 3. その他は特に大きい変動はありません。

災害別の救援金総額 以前に他の災害でお届けした救援金はゆめ風WEBサイトとブログに掲載しています

東日本大震災	2016年熊本地震	2018年西日本豪雨	2024年能登半島地震
350,127,104円	55,598,387円	45,164,095円	72,304,483円